千　葉　県　「土　地　改　良　関　係　組　織」　の　変　遷

明治の耕地整理係から今日までの「土地改良関係組織のあゆみ」

2017.09作成:Kobashi
2025.08.20更新

年表（元号・西暦）

明治３２年 1899 / 明治３３年 1900 / 明治３９年 1906 / 明治４１年 1908 / 大正１２年 1924 / 大正１５年 1927 / 昭和　７年 1932 / 昭和　８年 1933 / 昭和１０年 1935 / 昭和１７年 1942 / 昭和１９年 1944 / 昭和２０年 1945 / 昭和２１年 1946 / 昭和２３年 1948 / 昭和２４年 1949 / 昭和２７年 1952 / 昭和２８年 1953 / 昭和３１年 1956 / 昭和３５年 1960 / 昭和３８年 1963 / 昭和３９年 1964 / 昭和４０年 1965 / 昭和４３年 1968 / 昭和４６年 1970 / 昭和４８年 1973 / 昭和４９年 1974 / 昭和６２年 1987 / 平成　５年 1993 / 平成１１年 1999 / 平成１２年 2000 / 平成１５年 2003 / 平成１６年 2004 / 平成２０年 2008 / 平成２２年 2010 / 平成２３年 2011 / 平成２４年 2012 / 平成２６年 2014 / 令和元年 2019 / 令和２年 2020 / 令和３年 2021 / 令和４年 2022 / 令和５年 2023 / 令和６年 2024 / 令和７年 2025

本　庁

部
- 内務部（1906〜）
- 経済部（1935〜）
- 経済第１部／経済第２部（1944）
- 経済部（1945）
- 農地部（1946〜）
- 農地部／農林部（1948〜）
- 農地農林部（1956）
- 農林水産部（1960）
- 農林部（1963〜）
- 農林水産部（2000〜）

課
- 第４課耕地整理係（1906）　119 年前
- 耕地整理課（1908）
- 耕　地　課（1927）　98 年前
- 83 年前（1942）
- 76 年前（1949）
- 耕地第一課／耕地第二課（1973）　52 年前
- 51 年前（1974）
- 耕地課／農村整備課（1993）　32 年前
- 17 年前（2008）
- 農　村 振興課（2008）
- 農　村 環境 整備課（2011）
- 農地・農村 振興課（2014）

出　先

明治３９年に県庁に耕地関係の組織が誕生

- 101 年前　**臨時農業水利事務所**（1924）（栗山川・新川・南白亀川・養老川・小櫃川・坂川・鹿島川下流・根木名川下流・小中川・東葛飾郡八幡町外９ヶ村・山武郡正気村外・長生郡一松外４ヶ村・印旛郡本埜村）
- **臨時匡救耕地拡張改良事務所**（各郡１事務所）（1932）
- **耕地出張所**(五井 松戸 佐倉 茂原 東金 佐原 旭 木更津 大多喜 館山北条)
- **地方事務所 土地改良課**（1942）（安房・夷隅・君津・長生・山武・市原・千葉・東葛飾・印旛・香取・海匝）
- **用排水改良事務所**（1942）（香取海上匝瑳三郡大利根用水・小糸川沿岸・香取郡東部・印旛郡豊住村外２ヶ町村・夷隅郡中根村外２ヶ町村・東葛北部・坂川沿岸・赤目川沿岸・村田川沿岸）
- **耕地出張所**（1949）（上総東部・上総西部・両総東部・下総西部・下総北部・安房）
- **調査班**（1949）（印旛千葉沿岸・両総支線・東葛飾用水・東京湾干拓）
- **土地改良事務所**（1952）（市原・柏・成田・佐原・八日市場・東金・茂原・大原・木更津・館山）
- **両総支線土地改良事務所**（1953）
- **両総土地改良事務所**（1965）
- **両総用水管理事務所**（1974）
- **鴨川 支所**（館山土地）（1964）
- **開発庁 北総開発局 建設課**（S44農業開発課）（1968）
- **北総農業開発事務所**（1974）
- **成東 支所**（東金土地）（1970）
- **山武中央ほ場整備事務所**（1973）
- 2004.3.31　土地改良事務所閉所
- **農林振興センター　（基盤整備部）**（2004）（千葉、東葛飾、印旛、香取、海匝、山武、長生、夷隅、安房、君津）
- （千葉、東葛飾が基盤整備課、他は基盤整備部のまま）（2010）
- **農業事務所　（基盤整備部）** ただし千葉、東葛飾は基盤整備課（2011）
- 〃　**部制（基盤整備部）を廃止**（2012）（基盤担当次長を配置、ただし千葉農業事務所は基盤整備課長）

主な出来事

- 1899 **M32 耕地整理法制定**
- 1900 **M33　農業土木の始まり**
- 1906
- 1908
- 1914 第一次大戦開戦
- 1918 第一次大戦終戦
- 1924
- 1927
- 1932
- 1933
- 1935 S10 県営**大利根** ～S26
- 1936
- 1939 第二次世界大戦　開戦
- 1942
- 1943 S18 国営**両総用水** ～S40
- 1945 第二次世界大戦　終戦
- 1946 S21 国営**印旛沼干拓** ～S44
- S21 国営**手賀沼干拓** ～S43
- 1948
- 1949 **S24 土地改良法制定**
- 76 年前
- 1952 73 年前
- 1953
- 1956
- 1960 三島ﾀﾞﾑ
- 1961 金山ﾀﾞﾑ
- 1963
- 1964 S39.10.10 **東京オリンピック**
- 1965
- 1968
- S45 水公団営**北総東部用水** ～S56
- S45 国営**大利根用水** ～H5
- 1970 S45 水公団営**成田用水** ～S56
- 1972 安房中央ﾀﾞﾑ
- 1973 勝浦ﾀﾞﾑ
- 1973
- 1974
- 1977 荒木根ﾀﾞﾑ
- 1978 S53 水公団営**東総用水** ～H元
- S53.5.20 **成田空港開港**、戸面原ﾀﾞﾑ
- 1983 S58.4.15 **東京ﾃﾞｨｽﾞﾆｰﾗﾝﾄﾞ開園**
- 1987 S62.12.17 千葉県東方沖地震
- S63 国営**北総中央** ～
- 1989 佐久間ﾀﾞﾑ
- 1992 H2.8.23 千葉県中部地震
- 1993
- H5 国営**両総農業水利事業**～H26
- 1995 **H7.1.17 阪神・淡路大震災**
- 1996 H9.12.3 **アクアライン開通**
- 1998 平沢ﾀﾞﾑ
- 1999
- 2000
- 2001 **H13 土地改良法改正**
- 2003 **（環境に配慮）**
- 2004 勝浦ﾀﾞﾑ
- 2005 山内ﾀﾞﾑ
- 2008
- **H19 ストマネ事業開始**
- 2010 H22 国営**印旛沼二期**　～
- 2011 14 年前
- **H23.3.11 東日本大震災**
- 2012 13 年前
- 2013 H25.4.27 圏央道開通
- 2014 H26 国営**大利根**　～
- 2017 **H29.9 土地改良法改正**（中間管理機構、ため池耐震化、突発事故等）
- 2019 **H31.4 土地改良法改正**（組合員資格、利水調整、総代会制度、決算関係書類、員外監事等）
- 5月1日 元号が**令和**となる
- **新型コロナで世界が一変　感染者数6億7千万人,死亡者数680万人**
- 2020 ｺﾛﾅの影響で**東京ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ不開催**
- 2021 **東京ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ開催**
- 2022 **R4.4 土地改良法改正**
- 2023 **（防災事業・機構関連事業の拡充）**
- 2024 **1.1 能登半島地震(M7.6)**
- **10.22 全国土地改良大会 千葉大会**（幕張ﾒｯｾ 4,600人参加）
- 2025 **R7.4 土地改良法改正(水土里ﾋﾞｼﾞｮﾝの策定等)**

事業の流れ

- 耕地整理事業（1900〜1932）
- 土地改良区の設立（1949〜1963）
- 土地改良事業（農業基盤整備事業）（1949〜1972）
- 農業農村整備事業（2001〜2014）

知事

地方自治法施行

- S22.4　川口為之助
- S25.12　柴田等
- S37.11　加納久朗
- S38.4　友納武人
- S50.4　川上紀一
- S56.4　沼田武
- H13.4　堂本暁子
- H21.4　森田健作
- R3.4　熊谷俊人

千葉県人口・農家戸数

- T14 千葉県人口**１４０万人**
- S22 千葉県人口**２００万人**（農家戸数　１７９千戸）
- S43 千葉県人口**３００万人**（農家戸数　１６８千戸）
- S50 千葉県人口**４００万人**（農家戸数　１４４千戸）
- S58 千葉県人口**５００万人**（農家戸数　１３０千戸）
- H12（農家戸数　９１千戸）
- H14 千葉県人口**６００万人**
- H22 千葉県人口６２１万人（農家戸数　７３千戸）
- H24 千葉県人口６１９万人
- H27（農家戸数 ６２千戸）
- R02 千葉県人口**６２７万人**
- R02（農家戸数 ５１千戸）

急激な人口増（約３０年の間に３００万人増）

首都圏のベッドタウン・京葉工業地帯発展等による

上野英三郎

（忠犬ハチ公の主人）
明治３３年に**東京帝大農科大学**に**「農業工学講座」が開設**され、その講師となった上野氏は、全国に**農業土木を普及**させました。
（右写真は東大にある氏とハチ公の像）

野口初太郎

干潟耕地（椿の湖と呼ばれていた湖を江戸時代に干拓）は、昭和の初めまでは14の溜池を水源としていましたが、度重なる大干魃や用水不足に見舞われており、それを**救ったのが千葉県の農業土木技術者「野口初太郎」**である
氏の人生は、３０年余りにわたる挑戦の日々でした。　利根川に水源を求める「利根川引水計画構想」は昭和10年に「**県営大利根用水改良事業**」として着工したが、猛烈な反対運動や戦中戦後の資材不足を経て、昭和26年に笹川機場、幹線用水路が完成し、その**「命の水」で大地が潤いました**

天皇陛下に説明する野口初太郎